

令和 8年度予算見積調書

課室名：県土整備政策課

担当名：政策担当

内線：875018

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P116	ドローンの更なる活用～空守（そらもり）プロジェクト～			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	管理諸費	
事業期間	令和 8年度～ 令和10年度	根拠法令	なし			針路 分野施策	01 0101	災害・危機に強い埼玉の構築 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール 11 SDGsターゲット 11-b
1 事業概要 ドローンはここ数年で大きく普及している。県土整備部では、令和元年から導入し、平時及び災害時においてドローンを活用してきた。 災害時の被災箇所調査や職員が近づいて確認することが困難な箇所の目視確認補助や上空からの撮影による現場の事業進捗把握にドローンは有効である。 これまでの検証を踏まえ、県土整備部で管理・運用しているドローンを更新する。 ドローン活用経費 17,000千円				5 事業説明 (1) 事業説明 ア ドローンの更新 イ 操縦者の育成 (2) 事業計画 ア 県土整備事務所等へ配備されているドローンの更新 令和8年度 イ 飛行に必要なとなる知識・技能を有する職員の継続的な研修・育成 (3) 事業効果 【活動指標（アウトプット）】 ①ドローンの飛行機会の拡大 ②県職員ドローン操縦者人数増 ③ドローンを使用した訓練の充実化 【成果指標（アウトカム）】 ・飛行条件の拡大による災害時の迅速な情報取得及び調査力の向上 ・ドローンを使用した訓練の充実化による情報伝達力の向上 ・県内外への応援部隊派遣など災害対応能力の向上 ・ドローン部隊等、活動広報による県民の災害時の安心確保					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 デジタル活用推進事業債 充当率90% 交付税措置率50%									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 人件費（既存分）9,500千円×1.0人＝9,500千円 (2) 人件費（増員分）なし (3) 組織の新設・改廃 なし									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
		県 債							
決定額	17,000	11,000						6,000	17,000
前年額	0							0	

事業内訳書

事業名	ドローンの更なる活用～空守（そらもり）プロジェクト～		
単位事業名	ドローンの更なる活用～空守（そらもり）プロジェクト～	予算額	17,000千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
県債・ 土木債	11,000	11,000	土木施設点検機器整備事業債
一般財源	6,000	6,000	
合計	17,000	17,000	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
役務費	116	116	保険料
委託料	4,000	4,000	講習会講師料
備品購入費	12,884	12,884	機体購入費
合計	17,000	17,000	